

(様式例)

令和元年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立蒲田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ 2学年は、1年前に比べると4観点とも大きく学力を伸ばしている。基礎は目標値や全国平均とほぼ同じレベルまで上がってきている。
- ・ 3学年は、活用が目標値・全国平均・区平均を上回っており、2年次よりもさらに向上している。

(2) 課題

- ・ 1学年は基礎・活用ともに目標値、全国平均を下回っている。生徒の多くは小学校の内容の定着がなされていないことが推察される。小学校で学習した内容との関連性を見いださせながら授業に取り組む。
- ・ 2学年は活用がまだ目標値や全国平均を下回っている。復習が不十分だった点が多い。限られた時間でも復習できる工夫を行う。
- ・ 3学年は、基礎が目標値、全国平均、区平均よりも下がってしまった。2年次よりも低下している。この原因は油断して復習を十分行わなかった点が多いと言える。復習を効果的に行えば2年次よりも一層伸びる余地は十分ある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和元年度結果	平成30年度結果	平成29年度結果
第1学年	目標値・全国平均・区平均よりも、基礎活用ともに大きく下回っている。		
第2学年	基礎は、目標値・全国平均とほぼ同じであり、区平均を上回っている。 活用は、目標値・全国平均・区平均を下回っている。	目標値・全国平均・区平均よりも、基礎活用ともかなり下回っている。 (第1学年時)	
第3学年	基礎は、目標値・全国平均・区平均よりも下回っている。活用は、目標値・全国平均・区平均よりも上回っている。	基礎は目標値及び全国平均を上回っている。活用は目標を上回っており、全国平均を僅かに下回っている。 (第2学年時)	目標値・全国平均・区平均よりも、基礎活用ともかなり下回っている。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値、区平均から大きく下回っている。	目標値、区平均から大きく下回っている。	目標値、区平均から大きく下回っている。	目標値、区平均からやや下回っている。

② 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値・全国平均を少し下回り、区平均を僅かに上回っている。	全国平均を少し下回り、区平均とほぼ同じである。特に植物の体と分類、蒸留、震源までの距離の改善が大切である。	目標値・全国平均を僅かに上回り、区平均を上回っている。光合成の対照実験の改善が重要である。	目標値・全国平均を少し下回り、区平均を僅かに上回っている。斑状組織、堆積岩の成因の改善が重要である。

③ 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値・全国平均・区平均よりも少し下回っている。	目標値・全国平均・区平均よりも僅かに下回っている。動物の分類と進化、前線の通過が特に改善の必要がある。	目標値・全国平均・区平均よりも下回っている。化学変化と質量が特に改善の必要がある。	目標値・全国平均・区平均よりも下回っている。日本の気象が特に改善の必要がある。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
実験観察を多く活用し、生徒の興味関心を高め、日常との関連を重視した教材を開発、準備する。	実験、グループ学習などを通して、自分の考えを表現する時間を長く取り入れる。	観察・実験によって、生徒に技能の体得させる機会を増やす。	視覚的に理解しやすい ICT を活用した教材を開発し、毎時間の復習により知識の定着を図る。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
限られた時間の中で生徒の興味関心を高める実験観察教材及び生活に結びつく教材をより準備する。	実験や問題演習において効果的な活用課題をより開発する。応用問題を無理なく考えさせる方法を工夫する。	実験及び復習実験によって、生徒に技能の体得させる機会を増やす。技能の評価問題を工夫する。	実験観察と連動する演習問題や復習問題を一層工夫する。短時間に効率的に知識を定着させる ICT 教材をより開発する。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
生徒の興味関心を高める生徒実験及び演示実験を、授業用はもちろん復習用も開発し実行する。	実験や問題演習において生徒の活用力を高める活用課題を一層開発する。応用及び入試問題を無理なく効果的に考えさせる工夫が大切。	生徒の技能力を深める復習用の生徒実験及び演示実験教材をより開発し実行する。技能の評価問題を工夫する。	復習用問題（ICT 教材も含む）の一層の精選と復習実験との連動をより工夫する。